

埼玉県議会議員

—KOMEITO—

公明党

「小さな声を、聴く力。」

ふか や
深谷けんじ

県政につなぐ。未来につなぐ。

県議会 NEWS 第2号 2019. 秋

台風19号が猛威を振るい、本県にも甚大な被害をもたらしました。改めて、お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。被災者お一人お一人が当たり前の日常生活を取り戻すまで、被災者に寄り添い、復旧・復興を成し遂げていくことをお誓い申し上げます。

私は、台風19号が迫っていた10月12日の大雨の中、川越市内の河川の増水状況、浸水被害のあった地域や避難所を見回りました。翌13日も現場を奔走し、甚大な被害を目のあたりにしました。以来、被災者から伺った

声や要望に全力で対応し続けています。

今回の災害を受け、そして被災者の声を聴くなかで、河川整備や福祉避難所の充実など数多くの課題が浮き彫りになっています。県民の命と財産を守るために、今こそ、防災・減災を県政の主流に押し上げていくべきと強く決意をしました。

なお9月定例会は、9月20日より10月11日の22日間の会期で開催され、公明党より、「石渡豊」議員、「橋詰昌児」議員が一般質問に立ちました。

(質問の詳細、答弁は県議会 HP でご覧になれます)



宮崎参議院議員と川越キングスガーデンでの救出作業を見守る



平成29年に続き内水被害が発生してしまった寺尾地区。江川から新河岸川への緊急排水作業を見守る深谷県議(右から2人目)



1階部分全49世帯が床上浸水した県営坂戸東坂戸住宅。三芳野公民館に避難された方から仮住居の提供や浄化槽設備の早期復旧の声を受け迅速に対応



公明党県議団として大野知事に緊急要望書を提出(10月17日)